

ほけんだより

尚徳福祉会 とちょう保育園



気温が下がり乾燥した気候が続き、鼻水が出たり、お肌が荒れてかゆみが出ているお子さんもみられます。園では、感染予防のためしっかりと手洗いを続けていますので、朝夕の保湿（特に朝の洗顔直後、入浴後のうるおいがある時に保湿剤を塗ると、角質層に水分を閉じ込められるので効果的です）をお願いいたします。

お子さんの場合、インフルエンザの予防接種も2回ありますので、体調の良いタイミングに予定を組んで、年内に終わると安心ですよ！

気の抜けない状況下ではありますが、新型コロナ対策は、感染性胃腸炎やインフルエンザ予防にも有効です。体調にお気をつけて、ご家族で楽しい年末をお過ごしください。

★.....☆.....

(乳幼児突然死症候群)
SIDSから子どもを守るために...

SIDS（シズ）は、何の予兆や既往歴もないまま乳幼児が死に至る原因のわからない病気です。令和元年には78名の乳幼児がSIDSで亡くなり、乳幼児期の死亡原因の第4位となっています。

寝かせる時は、あおむけに寝かし、うつぶせ寝をやめましょう。

園でのお昼寝中のうつぶせ寝は、すぐ直しています。ご家庭でもご注意ください。ていってください。

うつぶせ寝好きでも、2週間程度で定着することが多いです。

冬場に多い おう吐・下痢

胃腸炎の症状は、嘔吐から始まり下痢に移行します。発熱することもあるので、脱水症状予防が大切です。

嘔吐後は、**2時間程度時間を空けて、少しずつ、経口補水液や乳幼児用イオン飲料**で水分摂取します。母乳・ミルクでも同じように、少量ずつ飲ませます。

おう吐・下痢のケア



まずスプーンで1口。吐き気がなければ、10分おき程度に1口ずつ。徐々に2口...と増やす。おしりはこすらずにお湯洗い。軽く押さえてふく。保湿剤を塗って荒れ予防を。

・新型コロナウイルス感染症に関する大切なお知らせ・

- ・ご家族がPCR検査を受けた際は、園にお知らせください。結果が出るまで、お子さんの登園を自粛していただくと、感染拡大防止になりますので、ご協力お願いいたします。
- ・発熱や咳等、風邪の症状が見られる時は、受診をお願いします。その際に保育園に通っていることを伝え、登園（集団の中での生活）が可能かどうか、主治医の診断のご確認をお願いいたします。

ナースショートコラムその⑩

誤飲・窒息・中毒にご用心

普段と違ったお食事をとる機会も増える年末年始。気道異物事故で気をつけたい食品は...

- ・丸くつるつるした食物（ピーナッツや枝豆...要注意、ミニトマト、キャンディーなど）
- ・かみ砕きにくい食物（グミやお餅、団子、こんにやくゼリーなど）

小さくカット、目を離さない、置いておかない

ナッツ類は、砕いていても小さい粒が気管に入ってしまうと大変取りにくく、全身麻酔での処置となります。3歳未満のお子さんは食べないよう、小児呼吸器学会が呼びかけています。

また**銀杏**は大人でも中毒事故（けいれん）がありますのでご注意ください。

今月の保健行事

身体測定	12月15日（火）
0歳児健診	12月25日（金）14:30